

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

ンを再構築する上で有効であると考えており、今後、導入を検討する。
※他の質問項目 乳幼児がいる家庭向けの防災ブックの作成 など

認知症の正しい理解と共生の地域社会づくり

問 認知症の正しい理解を促進していく必要があると思うかがか。

答 認知症への理解を深めるため、認知症サポーター養成事業を実施し、延べ1万1千人の方に認知症サポーターとなつていただいた。現在、地域包括ケアシステム推進モデル事業の中で、認知症サポーターの方に、認知症カフェの運営や実践的な講座に参加していただいている。認知症サポーターの養成と経験の積み重ねによるスキルアップを図るとともに、もの忘れ相談会の開催やもの忘れ予防健診などを通して、認知症の正しい理解の促進に努めていく。

問 かるたなど誰もが知っていて、手に取りやすく、世代を選ばずに遊べるツールで認知症に対する正しい知識の普及啓発が広がると考えるが、区への考えを伺う。



すみだオレンジかるた

答 知識を普及啓発するためには、単にチラシやパンフレットだけでなく、より積極的なアプローチが求められているため、効果的な方法を検討し、実施する。

問 家族介護者に寄り添う仕組みづくり これまで実施した家族介護者教室の今後の課題を伺う。

答 身体的、精神的、経済的など複数の悩みを抱えている介護者の場合、一つのテーマに絞った講座では悩みの解消につながらない。気軽に、かつ継続的に参加できるように、家族介護者の意向や要望をふまえた教室を開催することが大切だと考える。

問 家族介護者のもとへ訪問して話を聞き、技術の習得支援をすることで、不安や疑問を解消し、身体的・精神的負担を軽減できる仕組みを取り入れるべきと考えるが、いかがか。

答 国の地域支援事業のあり方への検討状況を注視しつつ、実態を把握した上で検討する。

奥戸フラワーパークの活用

問 バラの魅力をもっと引き出し、知ってもらうために、バラの見頃の時期にバラフェスタを開催し、太陽光エネルギーを活用した夜間のライトアップを試みてはどうかか。

答 バラフェスタの開催や夜間のライトアップは、区民との協働を念頭に関係機関と連携して検討する。

※他の質問項目 奥戸フラワーパークのアピール など

日本共産党葛飾区議会議員団

医療・介護の充実 保育の質の向上を

核兵器廃絶と平和関連事業

問 核平和都市宣言を行った区長として核兵器禁止平和条約の締結と核兵器先制不使用をどのように考えるか。

答 本区も加盟する平和首長会議加盟の世界の自治体と手を携え、核平和の実現に向け世論の醸成に取り組む。他の質問項目 核平和都市宣言区の看板の増設 など

健康格差の是正

問 国は子どもの医療費助成を行う自治体にペナルティーを実施するが、その廃止を求めるべきと思うがどうか。

額調整措置の廃止を要望している。本年3月にも廃止を強く要望した。問 国は後期高齢者医療制度の低所得者への保険料の特例軽減を廃止しようとしているが、廃止をやめるよう国に求めるべきと思うがどうか。

答 国に対し全国後期高齢者医療広域連合協議会を通して、やむを得ず見直す場合には被保険者の負担を最小限に抑え、急激な増加とならないように激変緩和措置を要望している。

問 厚生労働省は実質的に患者の選択にゆらがない場合は差額ベッド代を求めた対応を求めると通知するが、入院施設を持つ区内医療機関へ通知に沿った対応を求めるべきと思うがどうか。

答 区内医療機関に対し、差額ベッド代の適正な運用に係る厚生労働省の通知について改めて情報提供する。他の質問項目 差額ベッド代の助成制度の創設 など

保育士の処遇改善と保育所待機児解消

問 江戸川区では育児休業中の保育士が無給とならないよう、雇用保険の給付金を延長する独自の制度があるが、本区でも実施すべきと思うがどうか。



保育園で遊ぶ子どもたち

答 保育士の処遇改善の必要性は認識しており、事業者の意向を踏まえ求職者と事業者のマッチングや処遇改善など本区に有効な対策を検討する。

問 本区の新基準による待機児童数は4月時点で106人だが、認可施設に申し込んで入れなかった子どもは400人以上いる。旧基準による待機児童解消

の対策を考えるべきと思うがどうか。答 待機児童解消対策は優先すべき課題であり、平成27年度から3年間で千250人の定員増を図っている。新旧基準にとられず、年度途中であつても必要な方に必要なサービスを提供できるように整備を進める。

問 認可外保育施設で事故が多発しているが、認可外施設への新たな補助制度を作り、区内の認可外保育施設に対し、区が積極的に関与し監督責任を果たすべきと思うがどうか。

答 認可外保育施設への指導監督は都が年1回以上実施し、区も協力して立ち上げを行っている。また、新たな補助制度については、現時点で実施する考えはないが、認可施設への移行相談など、より高い保育サービスを提供できるように必要な働きかけを行う。

※他の質問項目 区独自の資金助成制度の創設 など

商店街と個店への支援

問 98商店会とともに区内小売店を対象に、活性化と消費拡大に何が必要かの調査を実施してはどうか。

答 区内98商店会へは年2回アンケート調査を実施し、事業実施の把握や要望などを伺っている。これまでも活性化と消費拡大を図り、フードフェスタやプレミアム付商品券などに取組んだ。今後もアンケート調査により先手先手の施策を実施するため、調査を実施する考えはない。

※他の質問項目 専門家による個店支援 など

自転車置き場

問 駅からの遠近により受益に差が生じるが、一律の有料化により受益者負担が逆に拡大するのではないか。

答 自転車置き場は受益者負担の原則などから有料の自転車駐車場として整備している。有料化にあたり、駅からの距離など施設の状態に応じた料金を設定しており、受益者負担を拡大することにはならない。

問 無料自転車置き場を新設し、環七青砥橋下自転車置き場、新小岩西自転車置き場の廃止は撤回すべきだがどうか。

答 受益者負担の原則や周辺駐車場との公平性から、自転車置き場の廃止、有料の自転車駐車場への変更という今までの方針にのっとり整備をする。

無所属 (※4)

マイナンバー、防災、雇用 長期的な区民第一の選択を

社会保障・税番号制度

問 個人番号カードの交付が遅れたようだが、現時点での個人番号カードの申請数や交付状況を伺う。



マイナンバーリーフレット

答 本年8月末現在約5万5千件の申請があり、約4万8千件の交付通知書を発送し、うち約2万8千件は既に交付し、残りも順次受け取れる状況にある。地方公共団体情報システム機構のカード管理システムの障害などにより交付が遅れが生じたが、専用窓口の設置など交付促進に努め、現在では円滑な事務執行が可能となった。これからも、迅速な交付に努める。

号の記載が必要であり、また来年7月から自治体間での情報連携やマイナンバーのサービス開始など運用が順次拡大される予定である。区としては法改正やシステム改修などに的確に対応し、行政手続の簡素化や効率化に一層取り組むとともに、個人番号カードなどを活用した区民サービスの向上策の検討を深め、制度導入の効果を一層高めていく。

※他の質問項目 社会保障・税番号制度に関わる区財政の歳出と歳入

新小岩公園防災高台整備事業

問 高台化に用いる土の安全性の担保のため区が調査すべきと思うがどうか。

答 仕様書などに土質や性状などの条件を規定するとともに、実際に搬入された土が仕様に基づいたものであることを区が調査・確認するほか、土の搬出先の状況も現地を確認する。将来、公園として安心して利用できるように土の安全性に十分配慮する。

問 区が行うべき災害対策として、広範な地域住民の意見を聞き、地域住民が納得できる事業として進めるべきと思うが区の考えを伺う。

答 地域住民に本事業の意義や必要性を積極的に説明するとともに、公園の再整備にあたり地域住民や公園の利用者と意見交換しながらニーズに合った公園となるよう取り組む。

※他の質問項目 再公募に向けた検証結果の公表予定

公契約条例

問 公契約条例の制定について検討を進めるべきと思うが、区の考えを伺う。

答 公契約条例の趣旨は十分理解しているが、区内の中小・零細企業に与える影響も大きいことから、慎重な検討が必要である。広く関係団体の意見を聞き、引き続き検討する。

※他の質問項目 指定管理者労働環境モニタリング制度の効果及び評価